

キャリア サポート 教員からの質問にAIが自動で回答 小中学校のICT教育を支援

総合人材サービス業のキャリア・サポート(株)(松山市)は、小中学校のICT支援員に代わり教員からの質問に自動で答えるAIアシスタントの導入を開始する。来年春頃から本格的に営業活動を始める予定。

キャリア・サポートは2018年から県内外の小中学校に約30人のICT支援員を派遣している。支援員は、学校に導入されたICTシステムの操作支援や、ネット環境へのトラブル対応、さらには教材作成や授業計画策定支援など幅広い業務を担っている。

支援員が教員らから受ける質問は似かよったものも多く、AIアシスタントによってデータベース化することで支援員の業務負荷軽減を図る。

AIアシスタントにはビジネスツク(株)(松山市)が開発したAIチャットボットサービスを使用。AI学習エンジンには全世界で導入され自然言語解析で評価の高いIBM社の知能システム「Watson」を採用した。

導入後はまず各教員やICT支

援員へのヒアリングを参考にビジネスツクがAI学習設定を行う。稼働後は、実績レポートに基づくAI学習アップデートや定期的なAI機械学習により高品質な自動会話プログラムを維持できる。

各教員はチャット系のスマホアプリを通じて質問し、AIが回答する。例えばICT教育に使用する機器の使用方法やICT学習の進め方など、支援員不在時にも簡単に回答を得ることができる。

来年春頃から全国の小中学校に向けて本格的に営業活動を始める。導入費用は月額8万円から(初期費用別)。導入までの期間は1〜3カ月。今後は教員だけでなく生徒や保護者らの利用も想定する。

キャリア・サポートの磯部順司代表は「エドテックとも呼ばれる教育のデジタル化が進む中、教員やICT支援員の負担軽減や学校全体のICT化促進のために使ってもらいたい」としている。